

大下旅館

Ooshimo Ryokan
(長野県白馬村)



外観

久しぶりに八方尾根スキー場へやってきた。実に2年ぶりである。今年は雪が多いので、4月のこの時期でも滑走できるコースはかなり多い。しかし、雪は案の定腐っているため、快適にカービングターンというわけにはいかない。重たい雪に逆らわないように、柔らかいタッチでターンをしていく。これが体力を消耗しないコツだ。逆にコブはアイスバーンになっていないので、難易度は低い。この腐った雪はコブの練習にはもってこいだ。

1日スキーを楽しんだら、もう脚はガクガクである。そんなとき、宿に温泉があれば、疲れた脚を癒すことが可能だ。八方尾根のタウンには温泉を備えた宿が非常に多い。八方温泉と呼ばれる温泉だ。八方温泉の特徴はほとんど無色透明の美人の湯。お肌にはかなりいいらしい。

今回紹介する大下温泉は、バスターミナルの近くにあり、3階建ての建物の1階に温泉がある。1階には掘り炬燵を備えた団欒場所があり、八方尾根で毎年開催される技術戦やリーゼンスラローム大会の資料、ポスター、ゼッケンなどが飾られている。スキー好きのオーナーの趣味であろう。

温泉は実にシンプル。5人分の洗い場があり、6人ほどが入れる大きさの浴槽があるだけである。洗い場にはリンスインシャンプーとボディーソープが完備。浴槽の湯温は適温だ。浴室で一緒になった4人組の若者は、実に楽しそうに本日の滑走について話をしていた。

宿泊した翌日は、残念なことに土砂降りの雨。我々取材班は、スキーをすることをあきらめ、そそくさと別の温泉取材へと向かった。しかし、先の4人組は大雨の中、スキーの身支度を整え、スキー場へ向かっていった。わが身の気合いのなさにただただ恥じるばかり

りである。

ちなみに大下旅館の湯はアルカリ性単純温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

大下温泉の夕食は結構豪華である。食事も温泉と並んで宿泊の楽しみの一つ。スキー好きはぜひ訪れてほしい宿だ。女将さんも実に気さくな方である。宿で 300 円の割引券をもらえば近くの外湯にも入れる。

- **名称**：大下旅館
- **所在地**：長野県北安曇郡白馬村北城八方 5711
- **電話**：0261-72-2206
- **営業時間**：要確認
- **定休日**：要確認
- **入浴料**：宿泊客は無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2015 年 4 月 4 日（土）、2015 年 4 月 5 日（日）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部